

(11)特許出願公開番号

特開平10-286053

(43)公開日 平成10年(1998)10月27日

(51) Int.Cl.⁶
A 0 1 K 97/18

識別記号

F I
A O 1 K 97/18

審査請求 未請求 請求項の数6 書面 (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平9-132740

(22)出願日 平成9年(1997)4月16日

(71)出願人 597071319

里吉 順

静岡県浜松市新津町470番地の1

(72)發明者 里吉 順

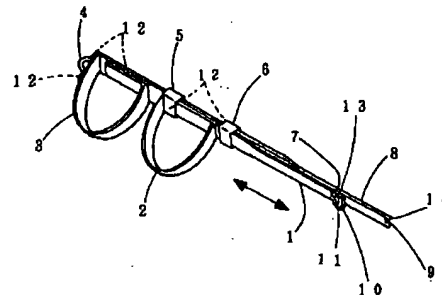
静岡県浜松市新津町470番地の1

(54) 【発明の名称】 スライド式針外し

(57) 【要約】

【課題】魚釣りで、釣り上げた魚に針を飲み込まれた場合、手指では取り出しにくいので、鉗やナイフなどを使って処理しているが、これだと手指を傷付けたり汚れるという問題点があったので、これらを解消するためには扱いが簡単で作業が安全、手指の汚れないものを提供することである。

【解決手段】第1プレート1と第2プレート8を重ねて使用し、各プレートの先端は糸挿入片10、糸挿入孔11及び切り込み部7などを設けてピストル形に形成し、所要箇所を接続してプレート的一方をスライドするように製作、プレートの先端を魚の口の中に挿入して、スライドさせることにより針が外れる。



- 1…第1プレート
- 2…第1指挿入孔
- 3…第2指挿入孔
- 4…環
- 5…後方固定部
- 6…前方固定部
- 7…切り込み部
- 8…第2プレート
- 9…第1先端切り込み部
- 10…糸挿入片
- 11…糸挿入孔
- 12…接続部
- 13…第1プレート肩
- 14…第2プレート肩

【特許請求の範囲】

【請求項1】防錆性で硬く、先端を所要幅に形成した第1プレート(1)の先端に、所要の角度を持たせて糸挿入片(10)を設け、同糸挿入片(10)の一方に切り込み部(7)を設けて、その両肩を所定の形状にカットして、第1プレート肩(13)とした糸挿入孔(11)を設け、前記、第1プレート(1)の後方を所定形状に形成し、端末を接続部(12)で接続して、第1指挿入孔(2)とし第2プレート(8)の一方に第2先端切り込み部(9)を設けて、その両肩を所定の形状にカットして第2プレート肩(14)とし、その端末も所定形状に形成し、第2プレート(8)と接続して第2指挿入孔(3)とし、さらに所要箇所(4)に環(4)を設けて、前記の第1プレート(1)と重ねて使用し、後方固定部(5)と前方固定部(6)で固定するが、後方固定部(5)では第1指挿入孔(2)と接続して、第1プレート(1)が前後にスライド可能とし、前方固定部(6)では第2プレート(8)と接続して固定し、第1プレート(1)をスライドしたとき、その固定具がストッパーとなるようにした、スライド式針外し。

【請求項2】第1プレート(1)の先端に設けられた切り込み部(7)の両肩を、所定の形状に形成して第1プレート肩(15)とし、第2プレート(8)の第2先端切り込み部(9)を、所定の形状にカットして、第2プレート肩(16)とし、第1プレート(1)の後方に所定形状に形成した部材を接続して、後方固定部(5)及び第1プレート(1)と接続、前方固定部(6)も第1プレート(1)と接続、第2プレート(8)の後方に所定形状に形成した部材を接続し、所要箇所には突起(18)を設けて、最後部には環(17)を設けた、請求項1記載の、スライド式針外し。

【請求項3】第1プレート(1)の先端に設けられた切り込み部(7)の両肩を所定形状に形成して、第1プレート肩(20)とし、第2プレート(8)の第2先端切り込み部(9)を所定の形状にカットして、第2プレート肩(21)とし、第1プレート(1)の後方を所定形状に形成して後方固定部(5)及び第1プレート(1)並びに前方固定部(6)と接続、第2プレート(8)の後方を所定形状に形成して、第2プレート(8)と接続し、最後部には環(19)を設けて同第2プレート(8)の所要箇所に突起(18)を設けた、請求項1記載の、スライド式針外し。

【請求項4】第1プレート(1)に、フック金物(30)を接続し、その先端に設けられた切り込み部(7)の両肩を、所定の形状に形成して第1プレート肩(22)とし、第2プレート(8)の第2先端切り込み部(9)を所定の形状に形成して、第2プレート肩(23)として、第1プレート(1)の後方を所定形状に形成して、所要箇所に設けられた前方固定部(6)及び後方固定部(5)と接続、第2プレート(8)の後方に第

2補助プレート(28)を設けて、先端部分を第2突起(29)とし、最後部には環(17)を設けた、請求項1記載の、スライド式針外し。

【請求項5】第1プレート(1)の先端に設けられた切り込み部(7)の両肩を、所定の形状に形成して第1プレート肩(24)とし、第2プレート(8)の第2先端切り込み部(9)を所定の形状にカットして第2プレート肩(25)とし、第1プレート(1)の後方を所定形状に形成して、同第1プレート(1)及び後方固定部(5)と接続、第2プレート(8)の後方を所定形状に形成して、第2プレート(8)及び、所要箇所に第1プレート(1)を前後にスライドしたとき、ストッパーとなるための前方固定部(6)と接続した、請求項1記載の、スライド式針外し。

【請求項6】第1プレート(1)の先端に、フック金物(30)を接続し、その先端に設けられた切り込み部(7)の両肩を、所定の形状に形成して第1プレート肩(26)とし第2プレート(8)の第2先端切り込み部(9)を所定の形状にカットして、第2プレート肩(27)、第1プレート(1)の後方を所定形状に形成して、同第1プレート(1)及び後方固定部(5)並びに、所要箇所に設けた前方固定部(6)と接続、第2プレート(8)の所要箇所に、突起(18)を設け、同第2プレート(8)の後方、先端部分を所定形状に形成して、第2プレート(8)と接続した、請求項1記載の、スライド式針外し。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、2枚のプレートを使用してピストル形に形成し、片方がスライドできるようにして、一方のプレートの先端に切り込みを設けて、釣り糸のガイドとし、他方のプレート先端も切り込みを設けて、針を固定するような形状として、釣り上げた魚から針を外す場合、本発明の先端切り込み部を釣り糸に沿わせて魚の口の中に挿入し、他方のプレートに設けられた先端切り込み部に針を固定し、ピストルを操作するようにプレートをスライドすると、針が引き抜かれて外に取り出すことができるというもので、これを使用すれば飲み込まれた針も楽に外れ、冬などの寒い季節でも直接、魚を握らなくてもよいので、快適に釣りを楽しむことができるようにした、スライド式針外しに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、釣り上げた魚に針を飲み込まれて取り外すことができにくい場合は、棒状のものを差し込んで掛けて引き出したりしていたが、どうしても取り出せない場合は、鉋やナイフを使用して魚の一部を切開して取り出していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の用具は扱いが難

しくて簡単に取り出すことができず、鋏やナイフでは危険で手指が汚れ、特に冬は指先の作業は困難である、という問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、防錆性で硬い2枚のプレートを重ねて使用し、ピストル形に形成して、片方のプレートにスライドの機能を持たせて、一方のプレートの先端に釣り糸ガイド用の切り込みを設け、他方のプレートは針を固定するような形状にして、飲み込まれた針を取り出すときは、先端の切り込み部を釣り糸に沿わせて魚の口の中に挿入し、続いて他方のプレートで針を固定し、ピストルを操作するようにプレートをスライドさせると針が引き抜かれて、中の針が外れるようにしたものであり、飲み込まれた針も簡単に取り出せて手も汚れず、快適な釣りを楽しむことができる。

【0005】

【発明の実施の形態】防錆性で硬い、所定形状のプレートの先端に、所要の角度を持たせて糸挿入片を設け、同糸挿入片の一方に切り込み部を設けて、その両肩は用途に基づいて決められた角度にカットして、糸挿入孔を設ける

【0006】第1プレートの後方を所定形状に形成し、末端を同第1プレートに接続して第1指挿入孔とし、他方のプレートの先端にも切り込みを設けて、その末端も所定形状に形成し、同プレートと接続して第2指挿入孔とし最後部には環を設ける。

【0007】第1プレートと第2プレートは重ねて使用し、後方と前方で固定するが、後方固定部では第1指挿入孔と接続して、第1プレートが前後にスライド可能とし、前方固定部では第2プレートと接続して固定し、第1プレートをスライドしたとき、この固定部がストッパーとなるようにする。

【0008】本発明の所要箇所を塗装して、使用方法の案内とする。

【0009】上記のように構成された本発明を使用すると、釣った魚の体内に釣り針が深く飲み込まれていない場合でも、先端に設けられた切り込み部を釣り糸に沿わせて魚の口の中に挿入し、続いて他方のプレートを針に固定して、ピストルを操作するようにプレートをスライドさせると中の針が外れ外に取り出すことができる。

【0010】

【実施例】実施例について図面を参照して説明すると、図1は本発明の請求項1で説明したものの実施例斜視図であり、その実施工程は、

(イ) 防錆性で硬い、所定形状の第1プレート1の先端に、所要の角度を持たせて糸挿入片10を設け、同糸挿入片10の一方に切り込み部7を設けて、その両肩を所定の角度にカットして、第1プレート肩13とした糸挿入孔11を設け、前記、第1プレート1の後方を所定形状に形成して末端を接続部12で溶接し、第1指挿入孔

2とする。

(ロ) 防錆性で硬い、所定形状の第2プレート8の一方に、第2先端切り込み部9を設け、その先端を所定の形状にカットして第2プレート肩14とし、その末端も所定形状に形成して第2プレート8と接続、第2指挿入孔3として、さらに所要箇所を環4を設ける。

【0011】図2は、図1の接続位置を明確にするため、単線の側面図に接続部を斜線で示したものであり、第1プレート1及び第2プレート8を2枚重ねて、後方固定部5と前方固定部6で固定するが、後方固定部5では第1指挿入孔2と接続して、第1プレート1が前後にスライド可能とし、前方固定部6では第2プレート(8)と接続して固定し、第1プレート1をスライドしたとき、この固定具がストッパーとなるようにする。

【0012】図3は、図2の第1プレート1の先端の糸挿入孔11の周辺で、第1プレート肩13の形状を拡大して示した平面図であり、他の符号は図1の説明と同様である。

【0013】図4は、図2の第2プレート8の先端の第2先端切り込み部9の周辺で、第2プレート肩14の形状を拡大して示した平面図である。

【0014】図5は、本発明の請求項2で説明したものの、接続部分を明確にするため、単線で示した側面図であり、その製造工程は、

(イ) 第1プレート1の先端に設けられた、切り込み部7の両肩を所定の形状にカットして、第1プレート肩15とし、第2プレート8の第2先端切り込み部9を所定形状にカットして、第2プレート肩16とする。

(ロ) 第1プレート1の後方に所定形状に形成した部材を接続、後方固定部5及び第1プレート1と接続し、前方固定部6も第1プレート1と接続、第2プレート8の後方に所定形状に形成した部材と接続、最後部には環17を設け、所定箇所を突起18を設ける。

【0015】図6は、図5の第1プレート1の先端に設けられた糸挿入孔11の周辺で、第1プレート肩15の形状を拡大して示した平面図であり、他の符号は図1の説明と同様である。

【0016】図7は、図5の第2プレート8の先端に設けられた、第2先端切り込み部9の周辺で、第2プレート肩16の形状を拡大して示した、平面図である。

【0017】図8は、図5の第2プレート8の最後部に設けられた、環17の形状を拡大して示した平面図である。

【0018】図9は、本発明の請求項3で説明したものの、接続部分を明確にするため、単線で示した側面図であり、その製造工程は、

(イ) 第1プレート1の先端に設けられた、糸挿入片10の糸挿入孔11の両肩を、所定形状に形成して第1プレート肩20とし、第2プレート8の先端に設けられた第2先端切り込み部9を、第2プレート肩21とする。

(ロ) 第1プレート1の後方を所定形状に形成して、後方固定部5及び第1プレート1並びに前方固定部6と接続、第2プレート8の後方を所定形状に形成して、第2プレート8と接続し、最後部には環19を設けて第2プレート8の所要箇所には、突起18を設ける。

【0019】図10は、図9の第1プレート1の先端の糸挿入孔11の周辺で、第1プレート肩20の形状を拡大して示した平面図であり、他の符号は図1の説明と同様である。

【0020】図11は、図9の第2プレート8の先端に設けられた、第2先端切り込み部9の周辺で、第2プレート肩21の形状を拡大して示した平面図である。

【0021】図12は、本発明の請求項4で説明したものの、接続部分を明確にするため、単線で示した側面図であり、その製造工程は、

(イ) 第1プレート1の先端に、フック金物30を接続し、その先端に設けられた切り込み部7の両肩を、所定形状に形成して第1プレート肩22とし、第2プレート8の第2先端切り込み部9を、所定の形状に形成して第2プレート肩23とする。

(ロ) 第1プレート1の後方を所定形状に形成して、第1プレート1と所定箇所に設けた前方固定部6及び、後方固定部5と接続、第2プレート8の後方に第2補助プレート28を接続して、先端部分を第2突起29とし所定形状に形成した部材を第2プレート8と接続、最後部には図8と同じ環17を設ける。

【0022】図13は、図12の第1プレート1の先端に設けられた、糸挿入孔11の周辺で、第1プレート肩22の形状を拡大して示した平面図であり、フック金物30は第1プレート1と接続するが、他の符号は図1の説明と同様である。

【0023】図14は、図12の第2プレート8の先端に設けられた、第2先端切り込み部9の周辺で、第2プレート肩23の形状を拡大して示した平面図である。

【0024】図15は、本発明の請求項5で説明したものの、接続部分を明確にするため、単線で示した側面図であり、その製造工程は、

(イ) 第1プレート1の先端に設けられた、切り込み部7の両肩を所定の形状に形成して、第1プレート肩24とし、第2プレート8の先端に設けられた、第2先端切り込み部9の両肩を所定の形状にカットして、第2プレート肩25とする。

(ロ) 第1プレート1の後方を所定形状に形成して、同第1プレート1及び後方固定部5と接続、第2プレート8の後方を所定形状に形成して、第2プレート8及び同第2プレート8の所要箇所に設けた、第1プレート1を前後にスライドしたとき、ストッパーとなる前方固定部6と接続する。

【0025】図16は、図15の第1プレート1の先端の糸挿入孔11の周辺で、第1プレート肩24の形状を

拡大して示した平面図であり、他の符号は図1の説明と同様である。

【0026】図17は、図15の第2プレート8の第2先端切り込み部9の周辺で、第2プレート肩25の形状を拡大して示した平面図である。

【0027】図18は、図15の第1プレート1の先端に設けられた、切り込み部7の切り込み位置を、拡大して示した側面図である。

【0028】図19は、本発明の請求項6で説明したものの、接続部分を明確にするため、単線で示した側面図であり、その製造工程は、

(イ) 第1プレート1の先端にフック金物30を接続し、その先端に設けられた切り込み部7の両肩を、所定の形状に形成して第1プレート肩26とし、第2プレート8の第2先端切り込み部9を、所定形状にカットして、第2プレート肩27とする。

(ロ) 第1プレート1の後方を所定形状に形成して、同第1プレート1及び後方固定部5並びに、所要箇所に設けた前方固定部6と接続する。

(ハ) 第2プレート8の所要箇所に突起18を設け、後部を所定形状に形成して第2プレート8と接続する。

【0029】図20は、図19の第1プレート1の先端に設けられた、糸挿入孔11の周辺で、切り込み部7の両肩を所定の形状に形成して、第1プレート肩26とした形状を拡大して示した平面図でありフック金物30を第1プレート1に接続する。

【0030】図21は、図19の第2プレート8の先端に設けられた、第2先端切り込み部9の周辺で、第2プレート肩27の形状を拡大して示した平面図である。

【0031】図22は、図19のフック金物30の先端の切り込み部7の切り込み位置を拡大して示した、側面図である。

【0032】なお、上記以外にも、第1プレート1及び第2プレート8の肩、並びに先端の形状及び指挿入孔、環、固定場所、ストッパーなどは、用途によって各種、組み合わせて実施することができる。

【0033】また、本発明の所要箇所を塗装して、使用方法の案内とする。

【0034】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施されるので、以下に記載されるような効果を奏する。

【0035】扱いが簡単だから時間も少なく済み、魚を直接持たなくても作業ができるので手が汚れない。

【0036】作業が安全で、季節による影響を受けない。

【0037】魚の種類によっては、針を飲み込む率が高いものがあるが、本発明を使用すれば、安心して釣りを楽しむことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の、請求項1で説明したものの実施例斜

視図である。

【図2】本発明の、図1を単線で示した側面図である。

【図3】本発明の、図2の第1プレート肩13の部分拡大平面図である。

【図4】本発明の、図2の第2プレート肩14の部分拡大平面図である。

【図5】本発明の、請求項2で説明したものを単線で示した側面図である。

【図6】本発明の、図5の第1プレート肩15の部分拡大平面図である。

【図7】本発明の、図5の第2プレート肩16の部分拡大平面図である。

【図8】本発明の、図5の環17の部分拡大平面図である。

【図9】本発明の、請求項3で説明したものを単線で示した側面図である。

【図10】本発明の、図9の第1プレート肩20の部分拡大平面図である。

【図11】本発明の、図9の第2プレート肩21の部分拡大平面図である。

【図12】本発明の、請求項4で説明したものを単線で示した側面図である。

【図13】本発明の、図12の第1プレート肩22の部分拡大平面図である。

【図14】本発明の、図12の第2プレート肩23の部分拡大平面図である。

【図15】本発明の、請求項5で説明したものを単線で示した側面図である。

【図16】本発明の、図15の第1プレート肩24の部分拡大平面図である。

【図17】本発明の、図15の第2プレート肩25の部

分拡大平面図である。

【図18】本発明の、図15の切り込み部7の切り込み位置を、拡大して示した側面図である。

【図19】本発明の、請求項6で説明したものを単線で示した側面図である。

【図20】本発明の、図19の第1プレート肩26の部分拡大平面図である。

【図21】本発明の、図19の第2プレート肩27の部分拡大平面図である。

10 【図22】本発明の、図19の切り込み部7の切り込み位置を、拡大して示した側面図である。

【符号の説明】

1…第1プレート

2…第1指挿入孔

3…第2指挿入孔

4、17、19…環

5…後方固定部

6…前方固定部

7…切り込み部

20 8…第2プレート

9…第2先端切り込み部

10…糸挿入片

11…糸挿入孔

12…接続部

13、15、20、22、24、26…第1プレート肩

14、16、21、23、25、27…第2プレート肩

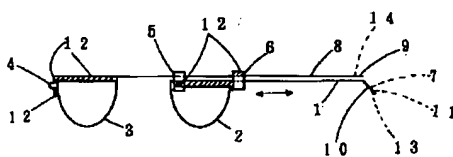
18…突起

28…第2補助プレート

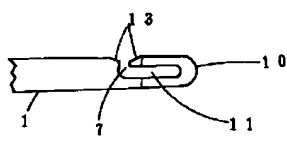
29…第2突起

30 30…フック金物

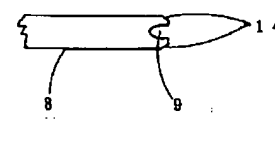
【図2】



【図3】



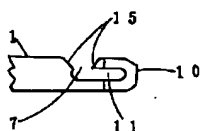
【図4】



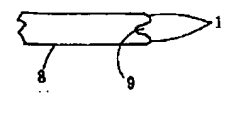
1…第1プレート
2…第1指挿入孔
3…第2指挿入孔
4…環
5…後方固定部
6…前方固定部
7…切り込み部

8…第2プレート
9…第2先端切り込み部
10…糸挿入片
11…糸挿入孔
12…接続部
13…第1プレート肩
14…第2プレート肩

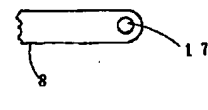
【図6】



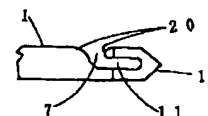
【図7】



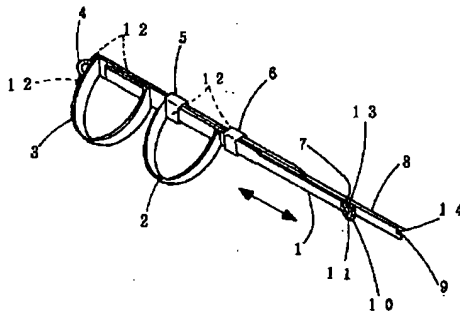
【図8】



【図10】

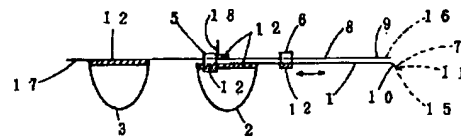


【図1】



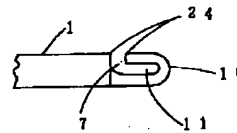
- 1...第1プレート
2...第1指挿入孔
3...第2指挿入孔
4...環
5...後方固定部
6...前方固定部
7...切り込み部
8...第2プレート
9...第2先端切り込み部
10...糸挿入片
11...糸挿入孔
12...接続部
13...第1プレート肩
14...第2プレート肩

【図5】

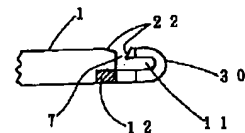


- 1...第1プレート
2...第1指挿入孔
3...第2指挿入孔
4...環
5...後方固定部
6...前方固定部
7...切り込み部
8...第2プレート
9...第2先端切り込み部
10...糸挿入片
11...糸挿入孔
12...接続部
15...第1プレート肩
16...第2プレート肩
18...突起

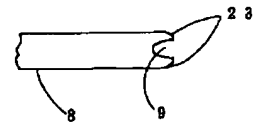
【図16】



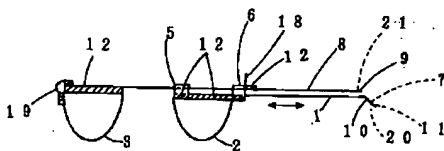
【図13】



【図14】

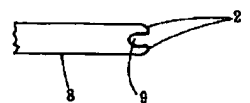


【図9】

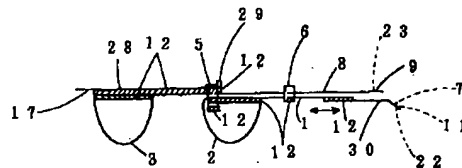


- 1...第1プレート
2...第1指挿入孔
3...第2指挿入孔
4...環
5...後方固定部
6...前方固定部
7...切り込み部
8...第2プレート
9...第2先端切り込み部
10...糸挿入片
11...糸挿入孔
12...接続部
18...突起
20...第1プレート肩
21...第2プレート肩

【図11】

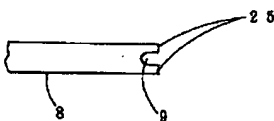


【図12】

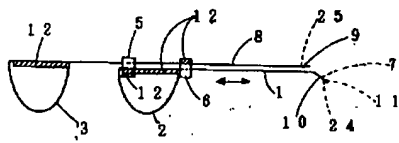


- 1...第1プレート
2...第1指挿入孔
3...第2指挿入孔
4...環
5...後方固定部
6...前方固定部
7...切り込み部
8...第2プレート
9...第2先端切り込み部
11...糸挿入孔
12...接続部
22...第1プレート肩
23...第2プレート肩
28...第2補助プレート
29...第2突起
30...フック金物

【図17】



【図15】

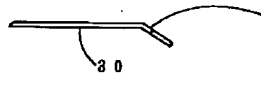


- | | |
|------------|---------------|
| 1...第1プレート | 9...第2先端切り込み部 |
| 2...第1指挿入孔 | 10...糸挿入片 |
| 3...第2指挿入孔 | 11...糸挿入孔 |
| 5...後方固定部 | 12...接続部 |
| 6...前方固定部 | 24...第1プレート肩 |
| 7...切り込み部 | 25...第2プレート肩 |
| 8...第2プレート | |

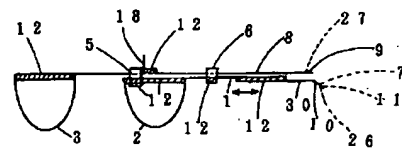
【図18】



【図22】

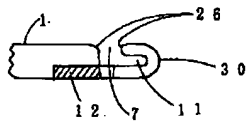


【図19】

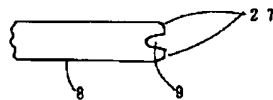


- | | |
|---------------|--------------|
| 1...第1プレート | 10...糸挿入片 |
| 2...第1指挿入孔 | 11...糸挿入孔 |
| 3...第2指挿入孔 | 12...接続部 |
| 5...後方固定部 | 18...突起 |
| 6...前方固定部 | 28...第1プレート肩 |
| 7...切り込み部 | 27...第2プレート肩 |
| 8...第2プレート | 30...フック金物 |
| 9...第2先端切り込み部 | |

【図20】



【図21】



PAT-NO: JP410286053A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10286053 A
TITLE: SLIDE TYPE HOCK REMOVER
PUBN-DATE: October 27, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
SATOYOSHI, JUN

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SATOYOSHI JUN	N/A

APPL-NO: JP09132740
APPL-DATE: April 16, 1997

INT-CL (IPC): **A01K097/18**

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a slide type hock remover simply handleable, safe in operation and not staining fingers since a problem in which a hook swallowed by a fish is not easily taken out by fingers in fishing, scissors and a knife are used to treat fishes but fingers are damaged and stained exists so that the problem is eliminated.

SOLUTION: A first plate 1 and a second plate 8 are superimposed and used. Each plate is equipped with a fishing line insertion piece 10, a fishing line insertion hole 11, a cut part 7, etc., at the tip and made into a pistol shape. Fixed parts are connected to make one of the plate slidable. The tip of the plate is inserted into the mouth of a fish and slid to remove a hook.

COPYRIGHT: (C) 1998, JPO

DERWENT-ACC-NO: 1999-016984

DERWENT-WEEK: 199902

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pistol type slidable unhooking device for
fishing - has front and rear guiding fixtures which fixes
first finger insertion hole on first plate to second plate,
and which allow first plate to slide back and forth along
second plate

PATENT-ASSIGNEE: SATOYOSHI J[SATOI]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0132740 (April 16, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 10286053 A	October 27, 1998	N/A
007 A01K 097/18		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 10286053A	N/A	1997JP-0132740
April 16, 1997		

INT-CL (IPC): **A01K097/18**

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10286053A

BASIC-ABSTRACT:

The device includes a rustproof first plate (1) formed with a string insertion piece (10) at one end. A first break (7) is formed to the string insertion piece. A first plate shoulder (13) with a string insertion hole (11) is formed by cutting both shoulders of the string insertion piece to a predetermined shape.

A second plate (8) has a second break (9) at one end. A second plate shoulder (14) is formed by cutting both shoulders of the second plate to a predetermined shape. A ring (4), connected piece (12) and a second finger insertion hole (3) are provided at the other end of the second plate. A first finger insertion hole (2), provided to the first plate, is fixed to the second plate by a rear and front guiding fixtures (5,6). The guiding fixtures allow the first plate to slide back and forth along the second plate.

ADVANTAGE - Safe to use in any season. Hand does not become dirty since fish need not be grasped directly. Enables fishing person to enjoy pleasant fishing since needle swallowed by fish can be easily removed.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/22

TITLE-TERMS: PISTOL TYPE SLIDE UNHOOKING DEVICE FISH FRONT REAR GUIDE
FIX FIX

FIRST FINGER INSERT HOLE FIRST PLATE SECOND PLATE ALLOW
FIRST PLATE
SLIDE BACK SECOND PLATE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-013747